

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立川越総合高等学校	Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	多彩な選択科目を持つ総合学科の趣旨や特性を踏まえて、目指す学校像が設定されている。次のステージに向けて、内容等の検討・整理を行い、より明快かつ具体的な学校像となるよう工夫できると更に良い。
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	学校の伝統や地域の期待を踏まえ、重点目標が設定されている。やや抽象的な内容となっているため、中期的な視点から更に検討・整理して、より具体的で分かりやすい目標とすることが望まれる。
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校評議員・学校評価懇話会の意見をまとめて、教職員に伝え、共通理解が図られている。分掌・学年等の連携を図り、学校関係者評価などを生かして、より具体的な評価項目や方策について検討・策定する組織的な体制を整備していただきたい。
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	組織編成の見直し、わかる授業の推進など課題解決に向けた方策が策定されている。方策がやや抽象的なものとなっているので、より具体的なものにし、学校全体と分掌等の目標の連鎖をより明確にして取り組むように工夫することが望まれる。
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	教職員一人一人の能力を生かして組織的に課題解決を図ろうとする校長の意欲が感じられる。校長的的確なリーダーシップの下、次のステージで学校が目指すべき方向などについて教職員の共通理解を深め、学校全体として更に組織的に取組を進めることが期待される。
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	生徒・保護者・教職員のアンケートを実施して学校自己評価のための情報を収集し、結果を分析して目標の設定などに生かしている。学校関係者の意見やアンケートの結果等を有効に活用し、学校の良い点を更に伸ばさせる取組などにつなげるように期待したい。
特記事項		